

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年9月3日			
平成15年度	事業コード	13110	電話	042-769-8341
担当部課名	保健福祉部	保育	課	保育係
事務事業名	乳児保育推進事業委託			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	元年度
施策名	第1施策	保育環境の整備・充実	

2 実施根拠及び関連法令等

乳児保育促進等事業実施要綱	相模原市乳児保育促進事業補助金交付要綱
乳児保育促進対策費補助金交付要綱	

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
乳児の入所については年間を通じて変動があることから、各々の保育所において安定的に乳児保育を実施できるよう、乳児保育を担当する保育士を確保しやすくすることにより、年度途中入所(産休明け)の需要等に対応し、乳児保育の一層の推進を図ることを目的とする。	乳児保育を実施し、担当職員の配置を行なう保育所
	対象数 民間保育所9園
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
民間保育所9園に対して、1園あたり2,264,400円の助成。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	新さがみはら子どもプラン
計画年次	13年度～17年度
子育て支援の総合的展開 2安心して働ける子育て支援の環境づくり 2)低年齢児(0.1歳)保育の拡充	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	乳児保育促進事業補助対象率	補助対象園/民間保育所数×100	補助対象施設数を向上させることにより乳児保育の充実を図る。	50	44	26	71	77
	乳児保育実施率	0歳児保育実施園/民間保育所数×100	民間保育所における0歳児保育の実施数の拡大を図る。	97	97	97	97	97

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	38,330	37,700	22,224	56,947	60,000
	人員・時間数	1	1	1	1	1
	人件費	8,390	8,390	8,390	8,390	8,390
	その他経費					
	合計	46,720	46,090	30,614	65,337	68,390
特定財源		25,550	25,133	14,816	318,983	40,000
対象数		16	14	9	13	13
対象の単位あたり経費		2,920.0	3,292.1	3,401.6	5,025.9	5,260.8

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	待機児童数が多く、産休明け等の年度途中の乳児受け入れについて、入所児童数の限度数を超えるため、一部対応ができていない状況がある。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B: 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 産休明け等の年度途中の乳児受け入れについて対応するために、必要な制度であり、市民や社会のニーズにかなっている。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	乳児保育推進事業(助成)の実施により、年度途中の乳児受け入れに必要な職員配置が行われることは、目的達成のために有効である。
(4)効率性 評価 B ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 職員1名を半年間配置する経費を補助額としており、予算に見合った効果が得られている。
(5)公平性 評価 B ▼	A: 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	補助対象施設と非対象施設との不公平・不均衡については是正するため、市単独による補助制度を設ける。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 年度末(3月)から年度当初(4月)にかけての0歳児の入所者数の減少数により補助対象を採択している。0歳児3名に対して1名の職員配置が最低基準となっているため、職員配置に応じた補助制度を検討する余地がある。	手段	国庫補助制度の採択基準の範囲内で、補助額を1/2とする制度を市単独で設け、将来的に国庫補助の減額があった場合にそれに応じた削減を実施する。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		国庫補助制度については他自治体も同様に行っている。本市としては、市助成の上乗せを行うことにより先進的に乳児の年度途中入所の促進を図ることとした。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	今まで、補助対象として採択された園と同様の乳児保育を実施しているにもかかわらず、国庫の採択基準により補助ができなかったケースがあった。民間保育所の運営助成の見直しの中で、乳児保育に係る雇用助成等の見直しを図ることとしたが、本事業による国庫補助が採択されないケースについても、一部範囲内で市単独による助成を行うことで、乳児保育の推進を図った。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--